

原発をやめるドイツの市民意識

講師 平山令二さん

(中央大学法学部教授)

福島第1原発事故は世界にも大きな衝撃を与えました。ドイツでは社民党・緑の党連立の前政権が原発の廃止を決めたのに、メルケル保守政権はこの決定をくつがえして稼働延長を決めていました。ところが「フクシマ」により、文字通り一夜にして再び廃止が決まったのです。このような急激な再転換の背景には、ドイツ市民の強い環境意識があります。今回は、市民意識を中心にして原発廃止を決めたドイツの動向を紹介し、私たちが学ぶべきものを探りたいと思います。

第14回

憲
法
学
習
会

2011年12月3日(土)

午後2時～4時

南大沢文化会館 第1会議室

(京王相模原線南大沢駅下車徒歩2分)

資料代 300円

南大沢憲法9条の会



連絡先 Tel & Fax 042-674-7950 片倉

電子メール minamioosawa9jou@mac.com

どなたでも参加できます